

BUSINESS
REPORT
2011

第38期 報告書

平成23年1月1日 ~ 平成23年12月31日



クリエートメディック株式会社

からだにやさしい 未来の医療を築く

～私達は独創的な技術開発力で、高品質かつ安全な製品を製造し、
人々の健康と生活の質の向上に貢献します～



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第38期の報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

■国内の経済環境と医療機器業界

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな業績回復の中で始まりましたが、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響に加え、秋以降の欧州債務問題、急激な円高、タイの洪水被害などの影響により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当医療機器業界におきましては、医療機器の共同購入の促進、恒常的な価格引き下げによる企業間競争の激化や診療報酬包括化（DPC）など業界をとりまく環境は依然として厳しい状況が続いております。経営の効率化はもちろんのことですが、品質、安全性を確保するとともに付加価値の高い製品を開発していくことが経営上の

重要な課題となってきております。

■当連結会計年度の営業の概況と業績

このような状況のもと、当社グループは経営基盤をより強固なものとするために、第3次中期経営計画（平成23年～平成25年）を策定いたしました。初年度に当たる当連結会計年度においては、売上・利益の目標達成と営業、開発、生産の各部門で掲げた重点施策に取り組んでまいりました。

その結果、売上高につきましては、輸出版売と中国国内での販売が好調に推移したことにより増収となりました。

一方、利益面につきましては、自社販売を中心に販売数量は伸びましたが、単価下落、大連クリエート医療製品有限公司の労務費・経費の増加などによる原価率の上昇、販売費及び一般管理費の上昇、為替差損などの計上によって営業利益、経常利益ともに減益となりました。

以上により、当連結会計年度の業績は、売上高9,325百万円（前期比2.5%増）、営業利益1,001百万円（前期比18.7%減）、経常利益982百万円（前期比11.7%減）、当期純利益583百万円（前期比12.6%減）となりました。また、年初業績予想と比べますと、売上高は0.3%増加、経常利益は13.1%増加となりました。

当連結会計年度における売上の概況を販売形態別に見ますと、自社販売は、血管系製品、看護・検査系ほか製品は伸び悩みましたが、泌尿器系製品、消化器系製品、外科系製品が堅調に推移しました。全般的に価格競争による単価下落の影響を受けましたが、減少分を数量増加でカバーした結果、6,905百万円（前期比0.7%増）となりました。

OEM販売は、外科系製品は増加しましたが、主に血管系製品の受注が減少したことにより、1,517百万円

(前期比1.3%減)となりました。

輸出版売は、主にヨーロッパ向けに泌尿器系製品、消化器系製品の大口受注が獲得できたことによって大幅に増加しました。その結果、536百万円(前期比18.7%増)となりました。

海外販売等は、クリエート国際貿易(大連)有限公司を通じて、中国市場で販売した実績ですが、新たに血管系製品を投入して、すべての系統が揃ったことと、販売代理店の充実に伴い売上が大きく伸びたことにより、344百万円(前期比45.3%増)となりました。

一方、製品系統別の売上高は、次のとおりです。

泌尿器系製品の合計は、2,436百万円(前期比6.9%増)、消化器系製品の合計は、3,488百万円(前期比3.9%増)、外科系製品の合計は、1,045百万円(前期比3.8%増)、血管系製品の合計は、1,598百万円(前期比5.1%減)、看護・検査系ほか製品の合計は、734百万円(前期比2.9%減)となりました。

■対処すべき課題

国内市場においては、診療報酬・特定保険医療材料価格の引き下げなどの医療費抑制策によって引き続き市場全体の成長性が抑えられていくものと予想されます。

これらに対処するために、当連結会計年度から第3次中期経営計画(平成23年~平成25年)をスタートさせて、経営目標実現のために活動してまいりました。この計画では3年後の数値目標を売上高103億円、経常利益14億5千万円としておりますが、グループ連結経営の強化と成長分野への投資をおこない、強い信念のもと全社を挙げて業績向上に向けて活動を加速してまいります。

国内販売では、PEG、イレウスチューブ、マイクロカテーテルを中心とした重点分野に力を入れてまいります。また、近年市場が拡大している中華人民共和国において

は、新医療保障制度による国内医療保険の充実や農村地区の医療施設などのインフラ整備の進行を背景に、営業販売ネットワークの構築と取扱製品の追加をおこなってまいります。さらに、医療現場のニーズに即応するため、現地での開発・生産・薬事・営業の一体的な事業活動を推進してまいります。

一方、ヨーロッパおよびアジアなどの国々に対しては、自社ブランド品およびそれに準ずる製品の販売へ重点を置き、競争力を高めていきたいと考えております。

収益面においては、当社グループ各社の原価管理体制の強化を図り、国内外を含む生産拠点の最適化を進め、生産工程の自動化や部資材の内製化を推進してまいります。

昨年11月からベトナムの生産子会社が稼働しておりますが、急成長する中国市場への製品供給を強化するとともに、日本における償還価格制度への対応と価格競争力の強化を図ってまいります。

これら販売・収益両面の諸施策を通して経営基盤の強化を継続してまいります所存です。

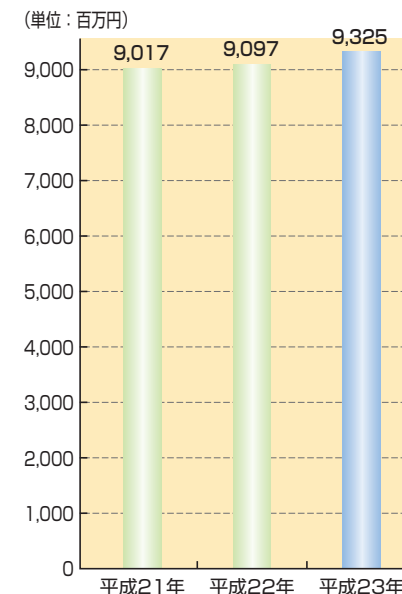
当社グループは利益還元を経営の重要課題と位置付け、業績に応じた利益配分をおこないつつ、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図ってまいります所存であります。

今後の業績向上に全社一丸となり邁進いたす決意でありますので、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

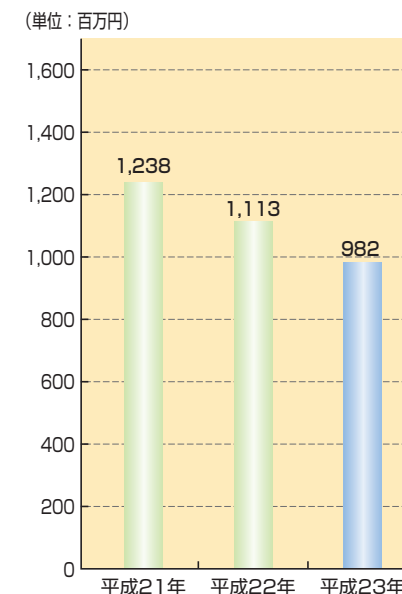
平成24年3月

代表取締役社長 吉野 周三

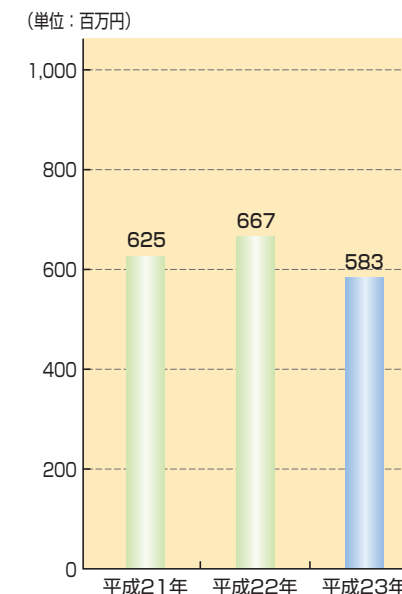
【売上高】



【経常利益】



【当期純利益】



区 分	平成21年 (第36期)	平成22年 (第37期)	平成23年 (第38期)
売 上 高(百万円)	9,017	9,097	9,325
経 常 利 益(百万円)	1,238	1,113	982
当 期 純 利 益(百万円)	625	667	583
総 資 産(百万円)	14,368	14,744	15,255
純 資 産(百万円)	10,566	10,756	11,006
フリーキャッシュ・フロー(百万円)	1,091	2	△37
一 株 当 たり 当 期 純 利 益(円)	65.04	69.41	60.66
一 株 当 たり 純 資 産 額(円)	1,098.73	1,118.52	1,144.47
一 株 当 たり 配 当 金(円)	33	33	33

(注)フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの合計額を表示しております。

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	
	第38期 (平成23年12月31日現在)	第37期 (平成22年12月31日現在)
	金額	金額
(資産の部)		
流動資産	9,619	9,874
現金及び預金	3,550	3,766
受取手形及び売掛金	3,376	3,375
有価証券	310	410
商品及び製品	1,155	1,286
仕掛品	582	479
原材料及び貯蔵品	457	390
繰延税金資産	102	100
その他	83	74
貸倒引当金	△1	△9
固定資産	5,636	4,869
有形固定資産	3,790	3,580
建物及び構築物	1,613	1,671
機械装置及び運搬具	303	274
土地	1,485	1,485
リース資産	63	27
①建設仮勘定	192	21
その他	131	100
無形固定資産	163	158
借地権	132	116
その他	31	42
投資その他の資産	1,681	1,130
投資有価証券	1,129	546
繰延税金資産	406	448
その他	150	138
貸倒引当金	△4	△2
資産合計	15,255	14,744

POINT

①建設仮勘定

ベトナムクリエートメディック有限会社の本工場建設に係る費用計上が増加要因であります。

科目	期別	
	第38期 (平成23年12月31日現在)	第37期 (平成22年12月31日現在)
	金額	金額
(負債の部)		
流動負債	3,053	2,772
支払手形及び買掛金	992	991
短期借入金	1,316	1,045
一年内返済予定長期借入金	77	90
リース債務	23	13
未払法人税等	162	182
賞与引当金	29	28
役員賞与引当金	12	10
その他	439	408
固定負債	1,195	1,215
長期借入金	-	81
リース債務	42	15
退職給付引当金	981	913
役員退職慰労引当金	168	205
資産除去債務	2	-
負債合計	4,249	3,987
(純資産の部)		
株主資本	11,244	10,978
資本金	1,461	1,461
資本剰余金	1,486	1,486
利益剰余金	8,331	8,065
自己株式	△34	△34
その他の包括利益累計額	△238	△222
その他有価証券評価差額金	13	14
為替勘算調整勘定	△252	△236
純資産合計	11,006	10,756
負債・純資産合計	15,255	14,744

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 3,625百万円

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	第38期 (平成23年1月1日～ 平成23年12月31日)	第37期 (平成22年1月1日～ 平成22年12月31日)
	金額	金額
売上高	9,325	9,097
売上原価	4,822	4,484
売上総利益	4,502	4,613
販売費及び一般管理費	3,501	3,382
営業利益	1,001	1,231
営業外収益	27	29
営業外費用	46	147
経常利益	982	1,113
②特別利益	90	2
特別損失	21	0
税金等調整前当期純利益	1,052	1,114
法人税、住民税及び事業税	427	466
法人税等調整額	41	△19
少数株主損益調整前当期純利益	583	-
当期純利益	583	667

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たりの当期純利益(期中平均発行済株式数による) 60円66銭

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	第38期 (平成23年1月1日～ 平成23年12月31日)	第37期 (平成22年1月1日～ 平成22年12月31日)
	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	864	672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901	△670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159	△191
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	15
現金及び現金同等物の増減額	△216	△174
現金及び現金同等物期首残高	3,852	4,027
現金及び現金同等物期末残高	3,636	3,852

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

②特別利益

特許権侵害差止等請求訴訟において当社の特許権の専用実施権に対する侵害が認められたことによる損害賠償金収入を計上しております。

■連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
平成22年12月31日残高	1,461	1,486	8,065	△34	10,978	14	△236	△222	10,756
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△317		△317				△317
当期純利益			583		583				583
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					-	△0	△15	△16	△16
連結会計年度中の変動額合計	-	-	266	△0	265	△0	△15	△16	249
平成23年12月31日残高	1,461	1,486	8,331	△34	11,244	13	△252	△238	11,006

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表 (要旨)

■貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	期別	
	第38期 (平成23年12月31日現在)	第37期 (平成22年12月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,393	8,709
固定資産	5,705	5,074
有形固定資産	2,215	2,246
無形固定資産	28	40
投資その他の資産	3,460	2,786
資産合計	14,098	13,783
(負債の部)		
流動負債	2,773	2,488
固定負債	1,178	1,118
負債合計	3,952	3,606
(純資産の部)		
株主資本	10,132	10,163
資本剰余金	1,461	1,461
資本剰余金	1,486	1,486
利益剰余金	7,219	7,249
自己株式	△34	△34
評価・換算差額等	13	14
その他有価証券評価差額金	13	14
純資産合計	10,146	10,177
負債・純資産合計	14,098	13,783

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■損益計算書 (単位: 百万円)

科目	期別	
	第38期 (平成23年1月1日~ 平成23年12月31日)	第37期 (平成22年1月1日~ 平成22年12月31日)
売上高	9,016	8,946
売上原価	5,151	4,878
売上総利益	3,864	4,068
販売費及び一般管理費	3,288	3,210
営業利益	575	857
営業外収益	20	24
営業外費用	26	43
経常利益	570	839
特別利益	90	2
特別損失	21	0
税引前当期純利益	639	841
法人税、住民税及び事業税	300	396
法人税等調整額	52	△19
当期純利益	287	465

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■株主資本等変動計算書 当会計年度 (平成23年1月1日~平成23年12月31日) (単位: 百万円)

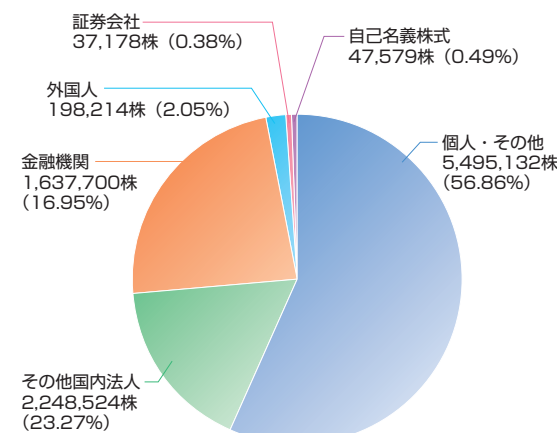
	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等			
		資本準備金	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金			利益剰余金合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計
平成22年12月31日残高	1,461	1,486	150	4,900	2,199	7,249	△34	10,163	14	14	10,177
事業年度中の変動額											
剰余金の配当					△317	△317		△317			△317
当期純利益					287	287		287			287
自己株式の取得							△0	△0			△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額 (純額)								-	△0	△0	△0
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	△30	△30	△0	△30	△0	△0	△30
平成23年12月31日残高	1,461	1,486	150	4,900	2,169	7,219	△34	10,132	13	13	10,146

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成23年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 9,664,327株
- 株主数 4,800名

株式分布状況



役員 (平成24年3月29日現在)

- 代表取締役名誉会長 西村 忠郎
- 代表取締役社長 吉野 周三
- 取締役 笠原 正孝
- 取締役 関戸 孝雄
- 取締役 佐藤 正浩
- 取締役 杉本 一郎
- 取締役 谷口 英彦
- 取締役 赤岡 洋三
- 取締役 藍 純男
- 取締役 遠藤 晋一
- 常勤監査役 飯島 昭
- 常勤監査役 中村 廣美
- 監査役 額 纈 卓尾

会社の概要 (平成23年12月31日現在)

- 本社所在地 〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
- 設立 昭和49年8月12日
- 資本金 1,461,735,390円
- 事業所 北海道工場、水戸工場、総合開発センター、14営業拠点 (札幌、盛岡、仙台、さいたま、東京、千葉、横浜、名古屋、金沢、大阪、神戸、広島、福岡、鹿児島)
- 連結子会社
 - 大連クリエート医療製品有限公司
 - クリエート国際貿易 (大連) 有限公司
 - 九州クリエートメディック株式会社
 - ベトナムクリエートメディック有限公司
- 関連会社 北京万東クリエート医用製品有限公司

製品紹介

クリエートメディックでは、安全性が高く、違和感や苦痛が少ない素材であるシリコーンを用いた製品を幅広く取り扱っています。また、高度な技術を背景に医師や看護師など医療従事者とともに、医療現場の様々なニーズを取り込んだ製品開発をおこない、患者さんのQOL（Quality of life）の向上を目指しています。

泌尿器系



留置導尿関連製品

全身麻酔による手術後など排尿が困難な場合に、尿道からカテーテルを挿入して膀胱内の尿を排出します。また持続的な排尿が可能です。



腎瘻（じんろう）造設術関連製品

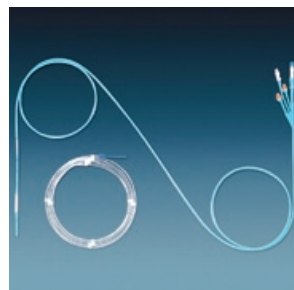
尿管の通過障害による腎後性腎不全などのときに、経皮的に腎臓にカテーテルを留置し排尿する事を目的とします。



自己導尿関連製品

排尿障害などを起こした場合に、患者さん自らまたは介護の方が一定時間毎に尿道にカテーテルを挿入して排尿するためのカテーテルです。

消化器系



イレウス関連製品

イレウス（腸閉塞）の患者さんに、鼻または肛門からカテーテルを挿入して、腸内に溜まった内容を吸引・減圧するために使用します。また、挿入したカテーテルに造影剤を入れ、患部の造影をおこないます。



胃瘻（いろう）造設術関連製品

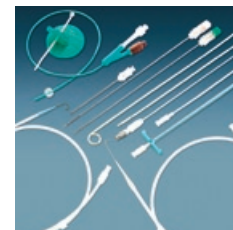
脳血管障害などで自発的に栄養を摂取できないときに、経皮的に胃にカテーテルを挿入して栄養を投与します。



栄養投与関連製品

開口障害や全身衰弱が著しく食物の摂取が不可能なときに、鼻から胃内や腸に挿入して栄養投与をおこなうものです。

外科系



PTCD関連製品

胆管や胆嚢に溜まった胆汁を経皮的に排出するキットで、手技に必要な器具が滅菌済トレイに入っています。また、確実性の高い穿刺を可能とする超音波穿刺針を用いて、経皮的にカテーテルを留置します。



内視鏡下手術関連製品

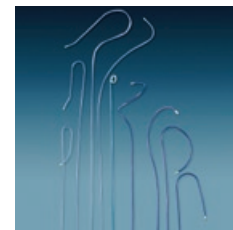
低浸襲手術（患者さんの体に対するダメージを最小限にする手術）の代表的な術式である「内視鏡下手術」において、使用するものです。



麻酔関連製品

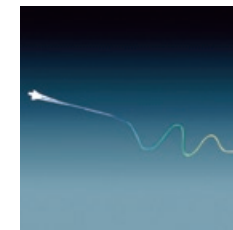
術後や末期ガンの患者さんなどの「疼痛管理」に使用される携帯型ディスポーザブル注入ポンプです。注入量は長時間使用しても安定しており、術後の患者さんの痛みを和らげる短期的な使用に威力を発揮します。

血管系



血管造影関連製品

X線で血管の病変を診断するために、造影剤を注入するためのカテーテルです。



血管内治療関連製品

主に細い血管の中を通し、肝臓などのがんへの抗がん剤注入、血管に塞栓物質を挿入するカテーテルです。

看護・検査系ほか



注腸検査関連製品

直腸・大腸ガン検査に使用するカテーテルであり、肛門から造影剤を注入してX線の検査をおこないます。



自動注腸装置

注腸X線検査の際に、造影剤、空気注入および排泄を遠隔操作で自動的におこなうためのYチューブ専用注腸装置です。



生検針

生体から細胞・組織を針を刺して採取したり、吸引して採取する針です。

株主メモ

- 事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月下旬
- 定時株主総会の基準日
期末配当の基準日 毎年12月31日
- 中間配当の基準日 毎年6月30日
- 公告方法 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店でおこなっております。

(お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金の支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告をおこなう際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。
なお、株式数比例配分方式をご指定いただいております株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にておこなわれます。確定申告をおこなう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。



クリエートメディック株式会社

本 社

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
TEL (045) 943-2611 URL <http://www.createmedic.co.jp>